

実習の手引き（学生用）

授業科目名：歯科診療補助 2

ユニットコーディネーター：吉羽永子

担当者：西山秀昌

実習日：2025 年 6 月 30 日（月）3・4 限（第 13 回）

実習場所：第 5 講義室

学生人数：計 19 名

一般目標：歯科医療現場におけるチーム診療を安全かつ円滑に行うために、療法別の診療補助および診療介助業務に関する知識、技術および態度を習得する。

到達目標：1) 口外法エックス線撮影に関する基礎知識を習得する。

2) 放射線被曝と、その影響・防護に関する基礎知識を習得する。

3) 自然放射線に関する基礎知識を習得する。

4) 患者からの被曝に関する質問に答えられるようにする。

実習法：講義 デモ 基礎実習 相互実習 臨床実習 ロールプレイ

準備物

（ ）は個数を示す

学 生 側	学 校 側
教科書・ノート・筆記用具	下記 Web サイトからのダウンロード [pdf ファイル] の準備 https://www5.dent.niigata-u.ac.jp/~nisiyama/ohw
右の web サイトから pdf ファイルをダウンロードして持参すること。印刷物、携帯端末のモニターなど、媒体は問わない。	環境線量測定器

教科書）わかりやすい歯科放射線学 第 3 版

実習内容と注意事項	教科書ページ	実施印
講義 - 口外法（主としてパノラマ撮影法）について - 自然放射線、放射性同位元素、放射能、線量と単位、放射線の生物に対する影響、放射線防護、放射線測定、放射線治療 基礎実習 - 環境線量測定器を使い自然放射線を測定する	p.90-p.127, p.148-149 p.2-11, p.22-29, p.162-178 （参考資料） 環境省 放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 https://www.env.go.jp/chemi/rhm/curren/kisoshiryoh.html 土居雅広・他：改訂版・虎の巻「低線量放射線と健康影響」、先生、放射線を浴びても大丈夫？と聞かれたら、医療科学社	